学校番号	１０６

平成 31 年度　国語科

教科	国語	科目	古典Ｂ	単位数	３単位	年次	２年次
使用教科書	精選　古典Ｂ　改訂版　（三省堂）335						
副教材等	・3 ステップ 新成古文 改訂版 大学共通テスト ・新版二訂 ニューエイジ漢文必修２　・Key&Point 古典単語 330 三訂版						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・有名な古文と漢文の文章に親しむとともに、現代にも通じる心情等を理解するために、語彙力や文法の知識をしっかり身につけましょう。
・予習として必ず本文を読み、指示された語句の意味を辞書で調べておきましょう。
・授業を振り返って、内容や知識を定着させましょう。
・提出物の期限を守り、定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

2　学習の到達目標

古典としての古文、漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b：読む力	c：知識・理解
観点の趣旨	古典を読む力を高め、作品の価値について自ら考察するとともに、我が国の文化の特質や中国の文化との関係について理解を深めようとする。	古典を読んで、内容および、思想や感情を、構成や展開に即して的確に捉え、ものの見方・感じ方・考え方を豊かにしようとする。	古典の理解に役立てるため、語句の意味、用法、文の構造、文法、表記等を理解し、知識を身につけている。
評価方法	・行動の観察 ・記述の点検（ノート、ワークシート等）	・記述の確認（ノート、ワークシート等） ・定期考査	・記述の確認（ノート、ワークシート等） ・小テスト ・定期考査
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c		
1学期	説話・随筆・伝承	『十訓抄』 ・博雅の三位と鬼の笛 『枕草子』 ・すさまじきもの ・雪のいと高う降りたるを 『古事記』 ・倭健の東征 有名な作品を読んで古文に親しむ。	○	○	○	a：重要語句の意味を古語辞典で調べている。 b: 作品の構成や展開をふまえて内容を的確に捉え、作者や登場人物の行動と心情を読み取っている。また、本文を適切に口語訳している。 c:一年で学習した用言の動詞の活用・助動詞について理解を確認する。	a：予習ノートの点検 b、c：記述の確認および定期考査
	小話・文章	『病入膏肓』 『畏饅頭』 『愛蓮説』 ・短めの文章を読んで漢文に親しむ。	○	○	○	a:現代の日本においても使われている故事成語の表現や小話の原型となる文章に興味関心を持つ。 b：話の展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み取る。 c：本文を訓点に従って正しく読み、書き下し文に改め、漢文独自の表現について理解を深める。 詠嘆・願望・受け身・使役などの句形を理解している。	a:行動、記述の点検 b、c：記述の確認および定期考査
2学期	日記・作り物語・	『更科日記』 ・あこがれ ・源氏の五十余巻 『源氏物語』 桐壷 若紫 ・日記文学を読んで、作者の考えや感情を読み取る。 ・物語を読んで登場人物の行動や心情を読み味わう。	○	○	○	a:現代の日本においても様々に影響を与えている源氏物語に興味を持ち、その源氏物語にあこがれた平安時代の少女の日記に共感をもつ。 b: 作品の構成や展開をふまえて内容を的確に捉え、作者や登場人物の行動と心情を読み取っている。また、本文を適切に口語訳している。 c：基本的な文法事項、和歌の修辞技巧、助詞について理解を深める。	a:行動、記述の点検 b、c：記述の確認および定期考査

	史伝	『史記』 ・鴻門之会 ・四面楚歌 ・項王の最期 少々長めの文章を読んで漢文に親しむ。	○	○	○	ａ：中国の有名な歴史的物語に興味を持つ。 ｂ：話の展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み取る。 ｃ：本文を訓点に従って正しく読み書き下し文に改める。 疑問・二重否定・使役などの句形を理解する。	a:行動、記述の点検 b、c:記述の確認および定期考査
3学期	歴史物語	『大鏡』 ・雲林院の菩提講 ・弓争い ・花山院の出家	○	○	○	ａ：平安時代の社会、その中心にあった藤原一族の興亡に興味関心を持つ。 b:作者の人間・社会・自然などの対する考えや感情を読み取っている。また、本文を適切に口語訳している。 ｃ：基本的な文法事項を理解している。	a:行動、記述の点検 b、c:記述の確認および定期考査
	儒家の思想	『論語』 『孟子』	○	○	○	ａ：古代中国の思想から現代に通じるものの見方・考え方を知る。 b:中国の主要な思想である儒家の主張の概要を理解する c: 本文を訓点に従って正しく読み書き下し文に改める。 反語・限定・仮定などの句形の読みと意味とについて理解する。	a: 予習ノート、行動、記述の点検。 b、c:記述の確認および定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:読む力
　　c:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。